

話し合った内容に納得した上で、学級のために行動できる児童の育成 ー互いを認め合える雰囲気づくりとICTの活用を通してー

特別研修員 特別活動 林 秀樹（小学校教諭）

児童の実態

- ・過去に失敗した経験があったり、認め合う経験が少なかったりするため、自信がもてない児童がいる。
- ・友達関係を気にしすぎてしまい、本音を伝えることが苦手な児童がいる。

教師の願い

- ・互いの意見を受け入れ、認め合える関係になってほしい。
- ・学級の課題について本音で話し合い、よりよい学級を目指して行動してほしい。

議題名「クラスをよりよくするためのスマイルアクションを考えよう」 学級活動（1）第6学年

- ・アンケートで実態を把握する。
- ・学級の実態を踏まえて「感謝パワー」について話し合うことを決定する。
- ・前回の話し合いの振り返りを見て、次の話し合いに向けて見通しをもつ。



事前

つかむ

出し合う

比べ合う

まとめる

事後

手立て2 「意見のまとめ方」を基に学習支援ソフトで意見共有

「意見のまとめ方」を参考に、学習支援ソフトでグループごとに話し合った結果をまとめる。

話し合い 意見のまとめ方		
ハーフ&ハーフ 2つの考えを合体させて1つにする。	トッピング 1つの考えにアイデアを付け加えて、よりよいものにする。	ハッピーセット メイン1つとサブいくつかを決める。
よくばりクワーター いくつかの考えを合体させて1つにする。	ワンプレート いくつかの考えを縮小して全部やる。	デイクアウト 休み時間や次の時間などの時間に取替わる。

折り合いをつけながら合意形成を図る。

〇〇さんの意見もいいね。
二つの考えをどちらも採用しよう。

個人で目標をつくって帰りの会などで発表する。

1週間に1回、感謝できたか振り返りをする。

小さなことでも感謝の気持ちを伝える。

感謝に関する行事などをして、ずっと意識できるようにする。

<学習支援ソフトで出された班の考え>



私の意見も受け入れてもらえた。

【学級全体で決定したスマイルアクション】

感謝パワーについての目標を設定し、個人に合わせた期間で振り返る。

手立て3 Googleアプリを活用した振り返り

Google Formsに振り返りを打ち込む。

スタディ・ログとして積み重ねる。
次の話し合いの前に確認する。

個人に合うようなスマイルアクションはすごくよかったと思った。他にも全体でできることを増やして次に生かしていきたい。意見が二つに割れたこともあったけど、皆が納得のいく意見になってよかった。

<児童の振り返り>

Google スプレッドシートで、個人や学級の活動を振り返る。

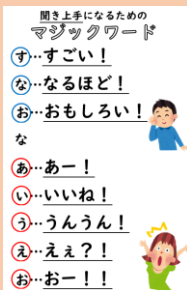
片付けを手伝ってくれてありがとう。

目標	振り返り
ありがとうを誰にでも言えるように心がけたい。	「ありがとう」などの感謝の言葉はできる限り言えたと感じた。自分はあまり「ありがとう」と言われるような行動をできなかったと感じた。来週はもっと自分が嬉しかったから、言いたいと思った。毎日頑張りたい。

大丈夫？

手立て1（本時を通して）互いの意見を受け入れ、認め合える雰囲気づくり

- ・「マジックワード」を参考にする。
- ・教師が進んで児童の意見を認める。



なるほど! その考えもいいね!



本音で話し合う。

目指す児童像

話し合った内容に納得した上で、学級のために行動できる児童



成果

- 互いの意見を受け入れ、尊重し合うことで、一人一人が納得できる話し合いにすることができた。
- 感謝の気持ちをもって授業に取り組んだり、困っている子がいたときに助け合ったりする児童の姿が多く見られるようになった。

課題

- 個人の考えを更に反映できるように、一人一人が学習支援ソフトの付箋に書き込んだグループの考えを学級全体で共有する必要がある。
- 学級のための行動につながる支援を更に行うことができるように、振り返りの際に話し合いの内容についての視点を入れる必要がある。